

「がん教育」におけるモデル授業の実施について

～がん教育先進県を目指して～

県教育委員会では、学校における「がん教育」の取組みを推進するため、医師、学校関係者、がん体験者等で構成する県がん教育協議会を組織し、「がん教育」におけるモデル授業の実施や教材補助資料の作成に取り組んでいます。

この度、県内3つの中学校で「がん教育」モデル授業を実施します。

1 「がん教育」モデル授業の概要

(1) 目的

「がん教育」は、がんに対する正しい理解とがん患者に対する正しい認識及び命の大切さに対する理解を深めることにあります。この「がん教育」を学校教育の中で推進するための第一歩として、「がん教育」のモデル事業を実施し、生徒の知識・理解を深めるとともに、教職員が「がん教育」の必要性を理解することを目的とします。

(2) 日程・実施校

- ・10月24日(金)13:40～16:00 鎌倉市立腰越中学校(2学年108名)
 - ・11月7日(金)14:00～16:20 県立相模原中等教育学校(前期生479名)
 - ・11月21日(金)13:20～15:40 (学)堀井学園横浜翠陵中学・高等学校(中学2学年61名)
- ※ いずれの学校も取材可能ですが、生徒のプライバシーに御配慮ください。

(3) 内容

- ア 中川恵一医師(東京大学医学部附属病院放射線科准教授)による授業
- イ がん体験者による体験談
- ウ 生徒によるグループワーク
- エ 教職員と中川医師による意見交換会

中川恵一医師プロフィール

- ・1960年生まれ。
- ・東京大学医学部医学科卒業
- ・厚生労働省 がん対策推進協議会委員
- ・文部科学省「がん教育」の在り方に関する検討会委員

2 これまでの取組み

H25年3月 県がん対策推進計画

- ・「がん教育の推進」を計画に位置づける。

H25年9月 県がん教育検討会の設置《保健福祉局》

- ・スライド教材の作成、モデル授業の計画

H26年4月 文部科学省「がんの教育総合支援事業」を受託

H26年9月 県がん教育協議会の設置《教育委員会》 ※別紙

- ・医師や学校関係者、がん体験者等12人で構成
- ・がん教育におけるモデル授業の実施、教材補助資料の作成

3 今後の予定

- ・平成27年度～ 教員によるモデル授業の実施 モデル授業実施校の拡大
- ・平成30年度までに 各学校で授業として実施

(問い合わせ先)

神奈川県教育局指導部保健体育課
課長 田中
電話045-210-8300
保健安全グループ 広瀬
電話045-210-8309

神奈川県がん教育協議会について

1 目的

神奈川県におけるがん教育の推進を目的とし、専門的見地から協議するため、「神奈川県がん教育協議会」を設置する。

2 協議事項

- (1) 神奈川県のがん教育に関する計画について
- (2) がん教育に係る事業の成果について
- (3) その他必要な事項

3 構成員

(◎座長 ○副座長)

氏名	所属・役職
◎中川 恵一	東京大学医学部附属病院放射線科 准教授
片山 佳代子	神奈川県立がんセンター臨床研究所 主任研究員
緒方 真子	神奈川県立がんセンター患者会「コスモス」世話人代表
羽鳥 裕	公益社団法人神奈川県医師会 理事
角野 禎子	公益社団法人神奈川県医師会 理事 神奈川県学校保健連合会 常務理事
石渡 篤美	神奈川県公立中学校長会 顧問
奥山 郁子	神奈川県学校保健連合会養護教諭部会 部会長
遠藤 泰子	神奈川県PTA協議会 執行役員
遠藤 仁一	神奈川県教育委員会 教育局支援部 子ども教育支援課長
南雲 正二	神奈川県県民局 次世代育成部 私学振興課長
佐々木 つぐ巳	神奈川県保健福祉局 保健医療部 がん対策課長
○田中 不二夫	神奈川県教育委員会 教育局指導部 保健体育課長

※ 委員の任期は、平成26年9月1日から平成27年2月27日。

4 事務局

協議会の事務局は、神奈川県教育委員会教育局指導部保健体育課が担当する。